

によつたてり、人々歌よむを聞て、心のうちに、

くちもせぬ此川ばしら、残らずば昔の跡をいかでしらまし、その夜は、くるとの濱といふ所にとまる、かたつかたは、廣濱なる所の、すなごはるくとしろきに、松原しげりて、月いみじうあかきに、風の音も、いみじう心ほそし、人々おかしがりて、歌よみなどするに、

まどろまじ今宵ならではいつかみんくるとの濱の秋のよの月